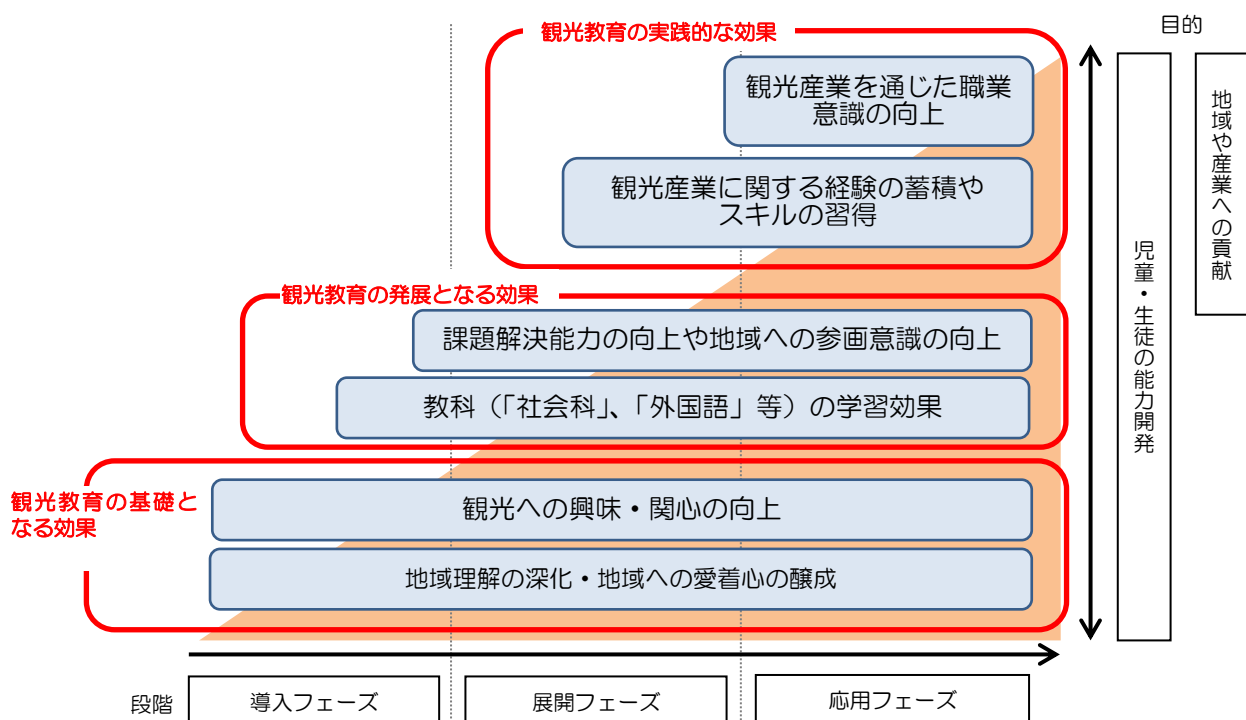


5. 観光教育のモデル授業構築

(1) 観光教育の段階と効果

前章までに取り上げた国内外における観光教育の取り組みを踏まえ、観光教育の効果について、教育段階（「導入」→「展開」→「応用」のステップ）と、目的成果（「地域や産業への貢献」、「児童・生徒の能力開発」）の2つの軸を用い、下図のとおり整理した。

観光教育の基礎となる効果である「地域の理解向上や地域への愛着心の向上」、「観光への興味・関心の向上」から、中核となる効果である「教科（「社会科」、「外国語」等）の学習効果」、「課題解決能力の向上や地域への参画意識の向上」を経て、より実践的な「観光産業の労働経験の蓄積やスキルの習得」、「観光産業への就業意欲の向上」へと段階的にステップアップしていく構造となっている。



- **地域理解の深化・地域への愛着心の醸成**
 - 観光教育で地域を題材として学ぶことを通じて、児童や生徒が地域の魅力について理解するとともに、地域への愛着心が向上することが期待される。
- **観光への興味・関心の向上**
 - 児童や生徒が観光の重要性を理解し、観光への興味や関心が向上することが期待される。
- **「社会科」、「外国語」等の教科の学習効果**
 - 観光教育を題材とすることにより、歴史や地理など、観光と親和性が高い「社会科」や観光のフレーズを扱う「外国語」等の科目の学習効果が高まる相乗効果が期待される。
- **課題解決能力の向上や地域への参画意識の向上**
 - 社会課題に関する調査やグループワーク、フィールドワーク等を実施し、課題解決に向けた取り組みを検討実施することで、課題解決力の向上が期待される。
 - 地域の関係者と交流したり、地域の社会課題について考えたりすることを通じて、地域の一員としての意識や、社会参画に対する意識の向上が期待される。
- **観光産業を通じた職業意識の向上**
 - 観光教育で実際に観光産業の現場等で就業体験し、観光産業への理解が増えることにより、将来観光産業へ就職したり、大学や専門学校へ進学して観光について学んだりすることに関して生徒の意識が向上することが期待される。

観光教育モデル授業の概要

○モデル授業の目的

今後、観光産業のさらなる発展に向けて、観光教育の充実化が望まれるところである。しかしながら、我が国の初等・中等教育課程における観光教育の実施状況は非常に限定的であり、各校教員の自主的な取り組みによって支えられている。観光教育に対する強い関心や、経験を持つ一部の教員が積極的に活動を進めている一方で、こうした経験を持たない教員が新たに観光教育を導入するにはハードルが高いという面もある。

本事業で構築するモデル授業は、観光教育の新規導入を検討する教員に向け、授業構築の道筋を示すとともに、教員の負担や導入障壁の低減を図るものである。

○モデル授業の考え方、方針

モデル授業については、観光教育の普及につなげるため、前述の調査結果の分析・考察を踏まえ、以下の方針に基づき構築した。

- | |
|--|
| <p>方針1：観光教育のすそ野拡大を重視</p> <p>方針2：子どもの主体性、探究心、地域参画等を重視したもの</p> <p>方針3：取り組んだことが課題解決につながる等、役に立っている実感が得られるもの</p> <p>方針4：地域との関わりを重視したもの</p> <p>方針5：教員の意識改革、負担軽減につながるもの</p> |
|--|

○モデル授業の見方と使い方

モデル授業は、大きく、「導入」、「展開」、「応用」の流れに沿って、3つのモデルを用意した。

このモデル授業を参考とする際は、自分達の学校や地域の状況を踏まえてモデル授業の内容を自由にカスタマイズしていただきたいと考えている。また、モデル授業は年間（1～3学期）を通じた開催を想定して作成しているが、「導入」部分のみを実施してもよいし、「導入」・「展開」・「応用」について、外部の専門家による出前授業等を活用し、トライアルとして短期間でまとめて開催してもよいと考えている。

構築の各目的は以下の通り。

<モデル授業①>

段階	テーマ	目的・授業内容
導入	観光とは何か、観光の重要性を学ぶ。地域の観光の魅力に気づく、知る。	観光の定義、日本の観光動向を学ぶとともに、自分が住むまちの観光の魅力に気づき、学ぶ機会とする。グループワークにより気づいた内容について話し合い、発表&意見交換を行う。

<モデル授業②>

展開	地域の課題を見つけるために調査を実施し、結果を分析して解決策を考察する。	自分が住む地域の光る資源や魅力、観光に係る課題を見つけるために調査を実施し、調査結果を分析・考察して取りまとめる。 <小学生> ・成果：「地域の光る資源及びその理由」 <中学生・高校生> ・成果：「地域の魅力と課題及びその理由」
----	--------------------------------------	--

<モデル授業③>

応用	地域の課題に対して具体的な解決策を考えて実践する。	自分が住むまちの課題（地域の衰退、高齢化、地場産業の減少等）に対する解決策の企画を考えると同時に、実現に向けて外部協力者との調整を図るなど、準備・調整を行う。 最後には企画を実践するとともに、その振り返りにより、自分たちが取り組んだことによる成果と未達だったことを分析する。 成果報告会の企画・運営も行い、自分たちの成果の発信方法についても自ら考える。 <小学生> ・成果：「観光案内マップ」 <中学生> ・成果：「地域の課題を解決する具体的な方策」 <高校生> ・成果：「地域の課題を解決するビジネス視点の方策」
----	---------------------------	---

(2) 観光教育モデル授業案

構築したモデル授業案を次に示す。